

ありがとうの中藤

学校便り第9号

令和5年1月18日

福井市中藤小学校



新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。🍒🍒

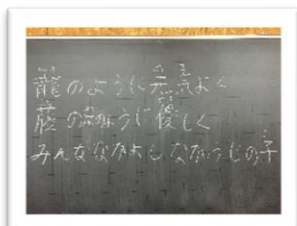
2023年のスタートです！今年の十二支は卯（うさぎ）です。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。ぜひ、中藤っ子のみなさんが、心穏やかに、それぞれの目標に向かって一層成長することを心から願っています。

さて、私事ですが、年末に右肩の手術をしました。原因は10年前、灯明寺中学校に勤務していた時にバレーボールの試合中に右肩の靱帯を断裂してしまいました。その時にすぐ手術を勧められたのですが、当時3年主任や進路指導の大きな仕事をしていたため、手術を受けずにこの歳までなんとかやってきました。

しかし、身体は正直です。ここに来て右肩が悲鳴を上げ、痛みが再発したのです。夜も痛みで眠れなくなり、仕方なく再診したところ、このままだといつか右腕が落ちると言われ、ゾッとなり思い切って手術を受けることにしました。実際手術を受けて分かったことに、右肩の主要靱帯がほぼ切れていたようで、予想した以上に状態は悪かったようです。結果として手術をして良かったと思うのですが、術後の痛みがかなりあって、なかなか「普通の生活」ができない状態になってしまいました。そして今、心から感じるのは、「健康であることの尊さ」です。「『当たり前』がいかにありがたいか」を痛感しています。これまで「普通はつまらない」とか、「平凡は刺激がない」と感じたときもあったのに、いざ『普通』が普通に出来なくなくなった今、その『平常』の大切さを思い知らされています。自分の考えの甘さを情けなく感じているところです。

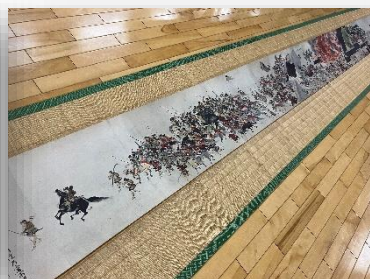
みなさん。やはり、人生の幸せとはまさに健康です。「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉のように、ぜひ自分の身体を大切にしながら、健康のありがたさを感じながら生活を送りましょう。そして、この2023年が皆さんにとって、まさに「飛躍の年」になることを祈ります。 中藤小学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

<残りわずかとなった「なかよしタイム」>



1月16日（月）の大休みを活用して「なかよしタイム」を行いました。「なかよしタイム」では、6年生を中心にこれまで様々な遊びや活動を行ってきました。コロナ禍でなかなか計画通りに行うことができなかったときもありましたが、逆境に負けることなく、6年生はしっかりとリーダーシップをとって、みんなの絆を深める取組を続けてきてくれました。今回は「班ごとの記念撮影」と「じゃんけん大会」をしましたが、どの班も笑顔にあふれ、とても楽しそうでした。2月22日（水）に行われる「6年生を送る会」まで、一緒に活動できる時間も残りあとわずかとなりましたが、6年生に感謝しながら、先輩としての素晴らしい姿をしっかりと心に留めながら、中藤っ子の「なかよしの心」をより深く、高めていって欲しいと願います。

<ふれあいミュージアム(6年:出前授業)>



1月12日(木)の2限目から6限目に、6年生は「ふれあいミュージアム(出前授業)」を行いました。学芸員の佐々木美帆様と福井県スポーツ局文化課の後藤亜好様を講師としてお招きし、日本の歴史や伝統文化について教わりました。蒔絵や刀のつば、浮世絵などの作品(実物)を見ながら、昔の人々の生活の様子や考え方について学びました。特に、佐々木様の日本の教育レベルの高さを含めた、「型にはまる」ことの意義や課題についてのお話は印象的でした。「当たり前のことをきちんとできるようになって個性がある」のお言葉は、一人の社会人として巣立っていく上で、とても大切なことだと感じました。ぜひ、ここで教わったことを大事にしながら、6年生のみなさんの更なる成長を期待します。

「ふれあいの木」が立派に見事に成長しました!

ふれあい委員会を中心にして始めた「ふれあいの木」が完成しました。これまで様々な学校行事や普段の生活において、「思いやり」の出来事や「ありがとう」の言葉(花)がたくさん咲きました。今中央のフロアに掲示されていますが、言葉(花)を読む度に心が温かくなります。



<各学年には、子どもたちの版画や習字の作品が展示されています。>



1年の教室にて



2年の教室にて



3年のフロアにて



4年のフロアにて



5年のフロアにて



6年の教室にて